



令和4年12月23日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和2年度選定）継続事業の決定について

「未来技術社会実装事業」は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先導性と横展開可能性等に優れた提案について、社会実装に向けた現地支援体制を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行うものです。

今般、地方公共団体からの申請を受け、下記のとおり7事業について、2年間の支援延長を行うこととしましたのでお知らせします。

記

No.	地方公共団体	事業名
1	栃木県	とちぎの林業イノベーション by Society 5.0
2	埼玉県秩父市	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業
3	埼玉県和光市	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版 MaaS 構想案）
4	石川県小松市	小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業
5	大阪府四條畷市	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり
6	山口県宇部市	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」
7	鹿児島県長島町	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業

以上

【担当・問合せ先】

内閣府 地方創生推進事務局（未来技術実装担当）

03-6206-6175